

ご自由にお取りください

ゆい ちゅうぶ 3

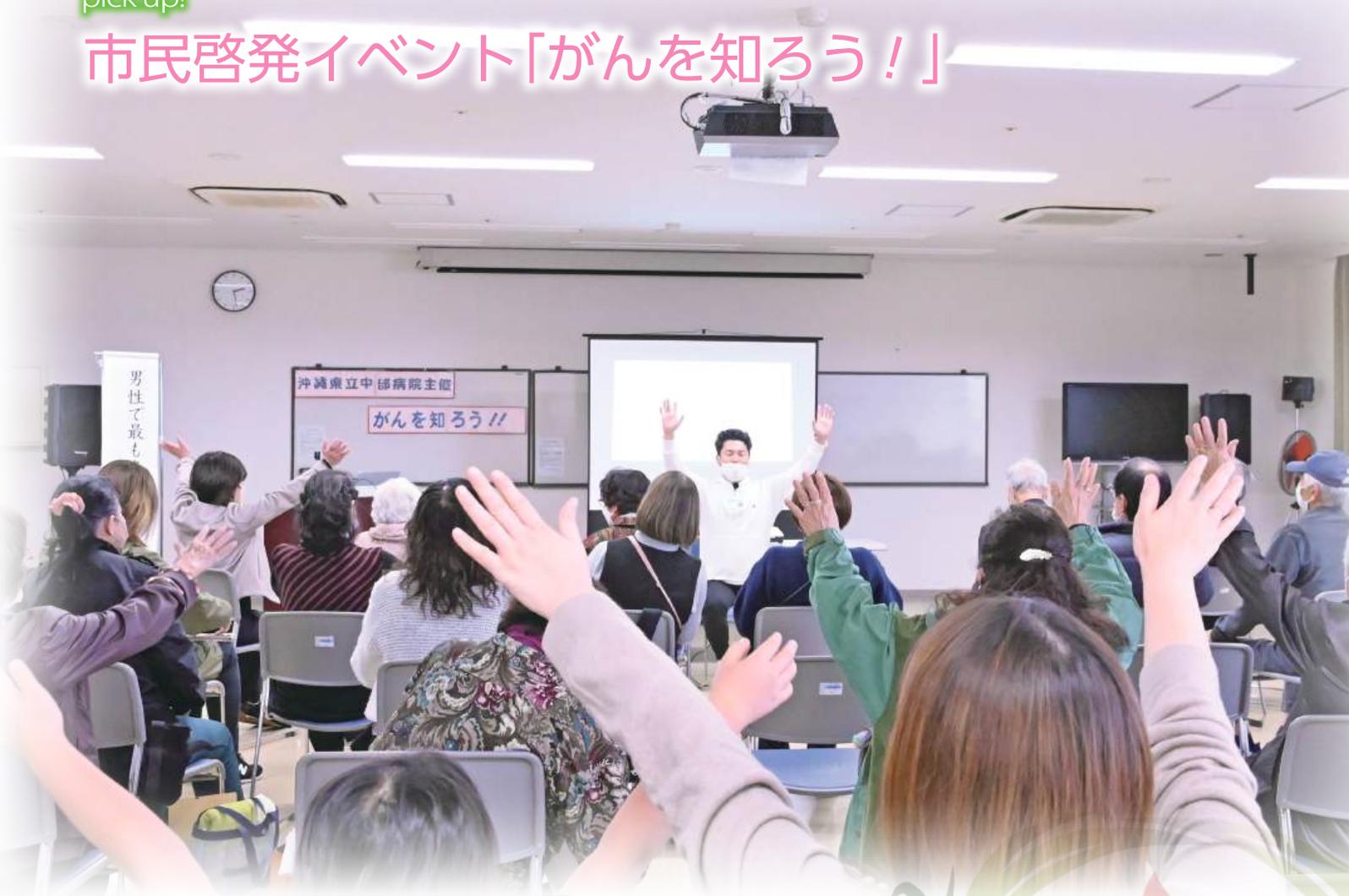
2026
vol.96



沖縄県立中部病院 広報誌
Okinawa Chubu Hospital

pick up!

市民啓発イベント「がんを知ろう！」



- がん啓発イベント
- 11月10日より、紹介予約に関してAI電話を導入しました。
- 地域医療支援交流会
- DMAT:美らしまレスキュー 2025年度 ~県庁
- シリーズ第36回 コメディカルワンポイントアドバイス
ヒートショックに気を付けよう!~冬場のお風呂に潜むケケン



市民啓発イベント「がんを知ろう！」 in うるみん

2月7日、うるま市健康福祉センター「うるみん」にて、当院主催の市民啓発イベント「がんを知ろう！～予防・治療・人生会議～」を開催しました。

このイベントは、県民の健康意識向上と、がんに対する理解促進を目的に当院が企画しているもので、新型コロナ感染症の流行期に一時中断しておりましたが、今年度久しぶりに開催できました。イベントでは、当院の医師による8つの講演があり、がんの予防に役立つ生活習慣、現在の標準的な治療方法、早期発見の重要性などを分かりやすく各医師が解説しました。講演では、予防や治療だけでなく、近年注目されている「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」についても紹介され、自分らしい生き方や治療の選択を家族と話し合うことの大切さについての紹介があり、実例を交えた説明に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

会場内には相談ブースも設けられ、医師、薬剤師、看護師、リハビリスタッフ、栄養士などの専門スタッフにより、がん治療に伴う不安や服薬、運動、食事といった生活面の悩みなど、個別に対応いたしました。会場には幅広い年代の市民が多く集まり、がんに関する正しい知識を深める貴重な機会となったのではないかと思います。がんは誰にとっても身近な病気ですが、正しい知識と早期発見、そして日頃的生活習慣の見直しによって予防や治療の選択肢が広がるものと思います。

中部病院は、地域がん診療拠点病院として、これからもがん患者さんおよびそのご家族さん、また、広く地域住民の健康づくりを職員一丸となって支える取り組みを継続していきます。今回のイベントだけでなく、当院のがん相談支援センターでも情報提供や相談に応じておりますので、お気軽にご利用ください。

がん相談支援センター

社会福祉士 奥平 藤也



当院医師による講演の様子



大腸がんスタンプラリー／乳がん触診モデル

- ・肺がんの予防等について
……………呼吸器内科 比嘉真理子先生
- ・消化器がんの予防等について
……………消化器内科 本部卓也先生
- ・男性で最も多い癌について
……………泌尿器科 田崎新資先生
- ・頭頸部がんの予防と治療について
……………耳鼻咽喉科・頭頸部外科 須藤敏先生
- ・手術について
……………一般外科 伊江将史先生
- ・抗がん剤治療について
……………腫瘍血液内科 吉田幸生先生
- ・放射線治療について
……………放射線治療科 戸板孝文先生
- ・人生会議-自分らしく治療や療養をするには-
……………地域診療科 安座間由美子先生
- ・乳がん触診モデル
- ・パネル展示
- ・カラー、アロマによる体験診断
- ・大腸がんスタンプラリー



カラー、アロマによる体験診断の様子

11月10日より、紹介予約に関してAI電話を導入しました。

外来予約をより早くご案内できるよう、各診療科の医師と調整を行い、予約枠の拡大にも取り組みました。導入当初は、ご高齢の方々にもAI電話をご利用いただけるか不安もありましたが、実際には幅広い世代の方々にご利用いただいております。予約手続きの円滑化につながっています。

その結果、AI電話による入電件数を含め、紹介予約件数は、導入前と比べて**約130%増加**し、現在では**紹介予約全体の約27%**をAI電話が担っています。

なお、**3月2日からは再診予約センターにもAIを導入**します。これからも、皆さまに安心してご利用いただける予約体制を整えてまいりますので、ぜひお気軽にご利用ください。

2025年11月10日から電話番号が変わります

050-1721-5812

月-金7:00~22:00

二次検診	渡航前ワクチン
新規予約	初診予約変更/キャンセル

沖縄県立 中部病院

AI電話が対応します!



2026年3月2日から電話番号が変わります

050-1808-3567

月-金 8:30 - 17:00 / 土日祝 受け付け不可

再診予約変更	再診予約キャンセル
予約日の確認	予約の取り直し

沖縄県立中部病院
<https://chubuweb.hosp.pref.okinawa.jp>

AI電話が対応します!



地域医療支援交流会

先日、地域医療支援交流会を開催し、院外から41名の先生方にご参加いただきました。本交流会は、地域医療に携わる先生方と当院各診療科が交流を深め、顔の見える関係を築くことで、今後の医療連携をより円滑に進めていくことを目的として開催しました。

当日は、二人主治医制の推進や病診連携に関する当院の取り組みを紹介するとともに、8診療科の医師がそれぞれの診療科の特色や役割について発表しました。また、中部地区医師会理事の山口先生からは、研修医に向けた温かいエールをいただきました。

さらに、研修医から地域の先生方へ挨拶が行われ、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

歓談の時間には、日頃の診療や連携について活発な意見交換が行われ、今後の連携強化につながる有意義な交流の場となりました。



美らしまレスキュー 2025年度 ~県庁

令和8年1月15日、16日の二日間、中部病院DMATチームは「美らしまレスキュー」へ参加しました。場所は県庁 4階 講堂で行われ、「沖縄県保健医療福祉調整本部」の一員として活動を行いました。

① 発災直後を想定したリアルな訓練

沖縄県全域を震源とする震度6強の地震、その後の津波被害を想定した訓練でありました。刻々と変化する被害状況の中で医療体制をどのように確保するかが問われました。

② 中部病院DMATの役割

調整本部では

- ・県内災害拠点病院の被害・稼働状況の把握・人的被害、医療資源の情報収集
- ・医療班派遣の調整 等を担当し、関係機関と連携しながら対応しました。



③ 訓練を通して

大規模災害時には迅速で正確な情報共有と冷静な判断が求められます。

今回の訓練は日頃の備えの重要性を再確認する非常に有意義な機会となりました。

特に私たち沖縄県立中部病院は沖縄県内の「災害拠点基幹病院」となっている為それぞれの職種が災害に関する意識を持ちつつ行動することが非常に重要だと感じました。



シリーズ 第36回 コメディカルワンポイントアドバイス

臨床工学科 澤 岨



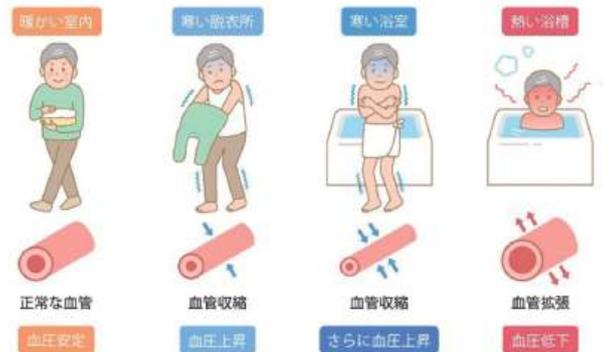
ヒートショックに気を付けよう! ~冬場のお風呂に潜むキケン

最近もまだ寒い日が続いていますが、お風呂やトイレの際にブルブルと震えるような“急な寒さ”を感じることはありませんか?

この“急な寒さ”は**ヒートショック**の原因になりうるため注意が必要です!

ヒートショックとは急な気温差が血管の拡張・収縮を引き起こし、それに伴って血圧が激しく乱高下することです。

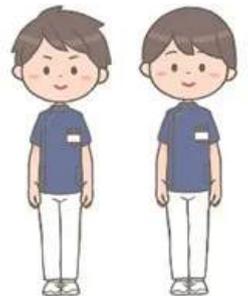
心筋梗塞 や **脳梗塞** の原因となる場合があります。冬場の入浴時やトイレの際が最も発生しやすく、高齢者や高血圧・糖尿病といった生活習慣病の方は注意が必要です。



予防Point

- ・入浴前に脱衣所や浴室を温めましょう!
- ・浴室からはゆっくり出ましょう!
- ・湯銭は40℃程度、長湯は控えましょう!
- ・水分補給は十分に!
- ・入浴前に家族に一声かけましょう!

**ヒートショックは
予防が大事!
健康に過ごしましょう**



沖縄県立中部病院

検索

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281 TEL: 098-973-4111 (代)

FAX:[代表] 098-973-2703 [地域連携室] 098-982-6568 ホームページ <https://chubuweb.hosp.pref.okinawa.jp/>

がん相談支援センター TEL:098-973-4312 (直通)

